

目 次

(教育創造開発機構)

【学 術 論 文】

- * 愛知教育大学の主免実習における到達目標の構築に向けて 平 野 俊 英 (1)
— 学生の学びの実態から考える — (Toshihide HIRANO)
- * 治療的コミュニケーションとしてのナラティブ 廣 瀬 幸 市 (9)
(Koichi HIROSE)
- * 愛知教育大学におけるグローバル人材の育成の取り組み 稲 葉 みどり (19)
— タイからの招聘研究者を人的資源として — (Midori INABA)
- * キミ子方式の応用題材に関する研究 松 本 昭 彦 (29)
— 応用題材開発の可能性について — (Akihiko MATSUMOTO)
金 由 惻
(Yuri KIM)
- * 「共感・共同」論に基づいた授業実践の意義 三 上 真 葵 (37)
— 子どもの主体的な追求の条件は何か — (Maki MIKAMI)
中 妻 雅 彦
(Masahiko NAKATSUMA)
- * 多重知能理論に基づいた真正の問題の学習に関する研究 中 野 真 志 (47)
— 総合的な学習の時間への活用を志向して — (Shinji NAKANO)
柴 山 陽 祐
(Yosuke SHIBAYAMA)
- * 生活科の年間指導計画の作成に関する調査研究 野 田 敦 敬 (57)
(Atsunori NODA)
梶 田 尚 吾
(Shogo KAJITA)
- * 教師教育の専門化とカリキュラム 山 田 綾 (65)
— スウェーデンの教師教育改革 (2000年) とその後の動向を中心に — (Aya YAMADA)
- * 体育科保健領域「病気の予防」の単位における教育内容の検討 山 田 浩 平 (75)
— 小学生の風邪の原因と予防に関する認識 — (Kohei YAMADA)
小 野 かつき
(Katsuki ONO)

【研究ノート】

- 震災時の情報行動江 島 徹 郎 (83)
—愛知県の情報系の大学生を対象にした調査から—
(Tetsuro EJIMA)
齋 藤 ひとみ
(Hitomi SAITO)
梅 田 恭 子
(Kyoko UMEDA)
野 崎 浩 成
(Hironari NOZAKI)
- ジャケット製作時における生地選び方加 藤 祥 子 (89)
—ルレット痕の分りやすい生地選び—
(Shoko KATO)
薮 聖 美
(Kiyomi YABU)
- 「学校実習」長期化と学生の成長中 妻 雅 彦 (95)
—「学校サポーター」を通して—
(Masahiko NAKATSUMA)
- 学級経営における学級通信の役割鈴 木 健 二 (103)
(Kenji SUZUKI)
- 持続可能な活動としての環境学習におけるものづくり岳 野 公 人 (113)
(Kimihito TAKENO)
- 教師の2つの指導性機能統合の規定因としての学級の課題性弓 削 洋 子 (121)
—一年間の小学校学級変容の事例から—
(Yoko YUGE)

【実践報告】

蒲郡市 ^{いのち} 生命の海科学館と愛知教育大学との連携	相 澤 毅	(131)
	(Takeshi AIZAWA)	
	岩 山 勉	
	(Tsutomu IWAYAMA)	
	川 上 昭 吾	
	(Shogo KAWAKAMI)	
	鈴 木 麻 未	
	(Asami SUZUKI)	
	戸 田 茂	
	(Shigeru TODA)	
	戸 谷 義 明	
	(Yoshiaki TOYA)	
	長 沼 健	
	(Takeshi NAGANUMA)	
	野 田 敦 敬	
	(Atsunori NODA)	
	平 野 俊 英	
	(Toshihide HIRANO)	
	広 濱 紀 子	
	(Noriko HIROHAMA)	
	山 中 敦 子	
	(Atsuko YAMANAKA)	
授業プラン 原子力発電と放射能の危険性	子 安 潤	(141)
	(Jun KOYASU)	
子どもが好きな石の形	佐々田 俊 夫	(149)
―「結晶の不思議展」開催報告―	(Toshio SASADA)	
誕生石を使った教養教育	佐々田 俊 夫	(153)
―「宝石の原石展～誕生石の文化と科学～」開催報告―	(Toshio SASADA)	
高校生を対象とした著作権に関するジレンマ資料を活用した情報モラル授業の検討 …	梅 田 恭 子	(157)
	(Kyoko UMEDA)	
	江 島 徹 郎	
	(Tetsuro EJIMA)	
	野 崎 浩 成	
	(Hironari NOZAKI)	

注記：＊印は査読を受けた論文であることを示す

本紀要のすべての投稿論文について、無断での転用・掲載を固くお断りする。